



## 給食 食育

本校では、食に関する指導の目標を「自ら望ましい食習慣を身につけようとする態度の育成」としています。子どもたちが自分の食生活を振り返り、必要に応じて改善しながら、生涯にわたって望ましい食習慣を身につけていけるよう支援を行っています。この目標を達成するために、以下の3つの視点を柱として大切にしています。

- 【自律】 正しい知識に基づき、自ら管理したり判断したりする力
- 【尊重】 作り手や動植物の命に感謝し、食を大切にできる態度
- 【創造】 集団にとって気持ちのよい食事の時間を創り出そうとする態度

毎年、年度初めには、【創造】の視点から、「集団にとって気持ちのよい食事の時間」をテーマに給食指導に取り組んでいます。給食は、おいしく食べるだけでなく、友達とよりよく関わりながら過ごす大切な時間です。そして、その時間を楽しく過ごすためには、一緒に食べるみんなが安心して過ごせる環境が土台と考えています。

昨年度の学校懇談会では、【創造】を育む取組の一つとして、食物アレルギーを例に挙げて、学校の取組を紹介させていただきました。給食の時間を安心できる環境にするために、全学年を対象にアレルギーへの「正しい理解」と「適切な行動」をテーマにした動画を視聴しています。動画視聴後には、児童から「牛乳がこぼれている時に、雑巾で拭かず、ティッシュなどで拭くように意識することが安全で楽しい給食につながると思った」、「みんなが安全に気をつけて給食を食べるとアレルギーのある人もアレルギーのない人も楽しく給食が食べることができるといった感想がありました。このような取り組みは、食物アレルギーのある児童を守るだけのものではありません。子どもたちが食事の時間を共に過ごす仲間のことを知り、自分にできる行動を考えながら、みんなで安心して食べる環境をつくっていくための学びでもあります。

懇談会後には保護者の方から、「給食の時間は、自分だけでなく共に過ごす人が安心できることを大切にされていることがわかりました。今後は、家庭でも給食での学びを話題にしながら他者を思いやる食事の在り方を共に考えていきたいです。」という感想をいただきました。

この感想にもあるように、安心して食べられる環境は、給食だけでなく家庭においても、一人一人がマナーやルールを意識し、おたがいを思いやる気持ちによってつくられます。食事の場は、ただ栄養を摂るだけでなく、心を通わせる大切な交流の場でもあります。例えば、みんながうれしくなるような話題を選ぶことは、一緒に食べる人への思いやりにつながります。このような思いやりが、安心して過ごせる雰囲気を生み出し、楽しい時間の土台になると考えます。ご家庭でも、「どうしたらみんなが気持ちよく食べられるかな」といった問いかけ

を通して、楽しい食事の在り方やマナーについて、お子様と一緒に考えていただければと思います。

このように、「自分の行動が、一緒に食べるみんなの安心や楽しさにつながっている」という視点を、学校生活だけでなく、日常生活の中でも共有していただくことが、大切だと考えています。その積み重ねが、気持ちのよい食事の時間を創り出そうとする【創造】を育む力となるのではないのでしょうか。子どもたちのよりよい成長のために、ご理解とご協力をお願いいたします。

<6月の行事予定>

日	曜	6月の行事予定	7月の主な行事予定
1	月		3日(金) 給食終了
2	火	授業参観 学校懇談会② 学年懇談会②	6日(月) 12:00 下校
3	水		7日(火) 12:00 下校
4	木		
5	金		
6	土		
7	日		
8	月		
9	火	附小のくらし検討三者協議会	
10	水		
11	木		
12	金		
13	土	研究公開 I 弁当日	
14	日		
15	月	代休	
16	火	プール使用開始	
17	水	学校評議員会①(幼小)	
18	木		
19	金		
20	土	(中等オープンスクール)	
21	日		
22	月		
23	火		
24	水		
25	木	ハハイオネ校来校	
26	金	ハハイオネ校来校	
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		